

科目	病院管理論	担当	北野 達也	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

近年、病院を継続的に維持運営するため、医療提供体制の再構築を余儀なくされている。この講義では、病院組織・構造の概要を学びつつ、継続的な院内組織構築、医療専門職などのキャリア・パス、人的資源管理、資産運用、アウトソーシングなどについて理解を深め、患者本位の安全・安心で質の高い医療提供を実践するための組織横断的な病院管理の実践手法や、将来、医療安全管理部門専門官、認定医療クオリティマネジャー、医療メディエーター、評価調査者などの幹部職員、さらに副院長・院長補佐、理事長など病院管理者に登用されるべく新たな実践手法についても学ぶ。※講義(数回)で病院管理者を招聘し、現状について講話して頂く。

【履修注意】

携帯電話電源切又はマナーモード、飲食禁、講義中入退室禁、10回以上出席を条件とする。
※「病院管理論」は医療マネジメントコース必修科目である。

【評価方法】

①期末テストによる評価:60%、②授業参加(積極的な授業参加、討論、発言、出席状況、レポートなど):40%

【試験について】

筆記試験を行う。

再試験対象者の条件:総合(期末テスト及び授業参加・レポート等)による評価が60点未満の学生
※但し、総合による評価が40点未満の学生は不合格とし、再試験を実施しない。

【予習・復習】

各回授業内容に応じ、授業前予習(専門用語、関連文献等の検索)、授業後の復習として、学習内容についてまとめ、国内外関連文献検索等によりさらに知識を深めること。※1コマ当たり90分を目安に予習・復習を行うこと。

【教科書】

購入教科書なし

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	Introduction	病院管理論とは?病院管理の歴史的背景、医療提供体制の現状
2	病院管理Ⅰ	病院運営の現状、診療報酬制度の問題点、医療需要の分析
3	病院管理Ⅱ	自治体病院運営の課題、地域医療再生、標榜診療科、SRI(社会的責任投資)の活用
4	病院管理Ⅲ	患者サービスと患者満足度、DPC、医療経営士、専門官等の配置
5	病院における質・安全管理Ⅰ	医療安全管理者、医療クオリティマネジャー、評価調査者の役割
6	病院における質・安全管理Ⅱ	安全管理、IC(インフォームド・コンセント)、クリニカル・パス、クリニカル・ガバナンス、臨床監査
7	病院における質・安全管理Ⅲ	質評価、P4P(Pay for Performance)、Evidence Practice Gap、第三者機関の活用など
8	中間まとめ	1~7まとめ(レポート)
9	病院経営管理Ⅰ	医業収益、医業費用、人件費率、財務諸表、損益分岐点分析など
10	病院経営管理Ⅱ	貸借対照表、損益計算書等の理解、キャッシュフロー経営など
11	病院経営管理Ⅲ	資金調達と運用、資金管理、医療機器購入・廃棄、設備管理など
12	医療機関における組織管理Ⅰ	医療機関の組織構造、医療専門職、Non-Technical Skills強化
13	医療機関における組織管理Ⅱ	Enterprise Risk Management、組織マネジメント評価、経営改善
14	医療機関リスク・マネジメントⅠ	人的資源管理、組織マネジメントのための新たな手法:実習Ⅰ
15	医療機関リスク・マネジメントⅡ	医療の質・安全管理体制再構築のための新たな手法:実習Ⅱ
16	期末試験	15コマの復習・確認・まとめ